

3. 武蔵野美術大学

1) 学事予定

2020年

4月13日（月）～7月15日（水）前期授業週間

7月16日（木）～22日（水）前期補講・講義科目定期試験週間
※4月29日（水）昭和の日は授業を行う。

7月23日（木）～9月5日（土）夏季休業

9月7日（月）～12月19日（土）後期授業週間
※10月26日（月）～11月4日（水）芸術祭活動期間は授業を行わない
※11月23日（月）勤労感謝の日は授業を行う

12月21日（月）、22日（火）後期補講・講義科目定期試験週間①

12月23日（水）～1月5日（火）冬季休業

2020年

1月6日（水）～9日（土）後期補講・講義科目定期試験週間②

2) 事務手続等

○TAC単位互換申請受付 前・後期科目： 4月3日（金）、6日（月）、7日（火）
○受講許可学生発表日 前・後期科目： 4月10日（金） [所属大学を通して発表]

3) 事務取扱時間

担当：教務チーム

月曜～土曜 [祝日除く] 9:00-12:40、13:40-16:30

4) 単位互換履修生証の発行

「TAC単位互換履修生証」を発行しますので、顔写真1枚（縦3cm×横3cm、裏面に氏名記入）を教務チーム窓口へ提出してください。

翌日以降にお渡ししますので、取りに来てください。

5) その他

●講義室配当、変更

1号館の掲示板にて確認してください。

●休講

ホームページ (<https://www.musabi.ac.jp/>) →在学生の方へ→

休講情報 (<https://mau.musabi.ac.jp/portalv2/digitalsignage/digitalSignage/cancelTop>) より確認できます。

●試験情報

前期／後期試験の約1カ月前に発表します。1号館の掲示板にて確認してください。

● 気象警報に伴う休講

気象庁が多摩北部に「暴風」「暴風雪」「大雪」の気象警報（注意報を除く）を発表した場合は以下の通りとなります。

- ① 午前6時00分において発表されている時は、午前を休講等とします。
 - ② 午前9時00分において発表されている時は、午後を休講等とします。
 - ③ 午前9時00分より後に発表された場合は、学長の判断により決定する。
- どの規定に該当しても、本学ホームページ等で確認するようにしてください。
また、定期試験が延期された場合は、別途指示します。

6) 受付窓口

武蔵野美術大学 学生支援グループ教務チーム (1号館2階)

※正門正面の建物が1号館です わからない場合は正門守衛室でお尋ねください

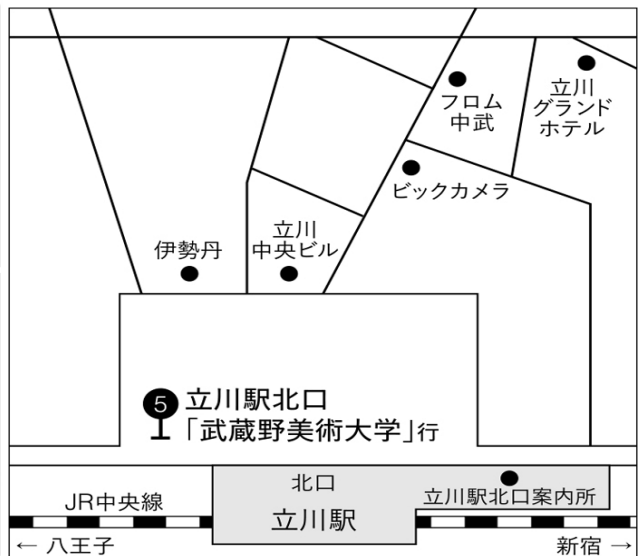
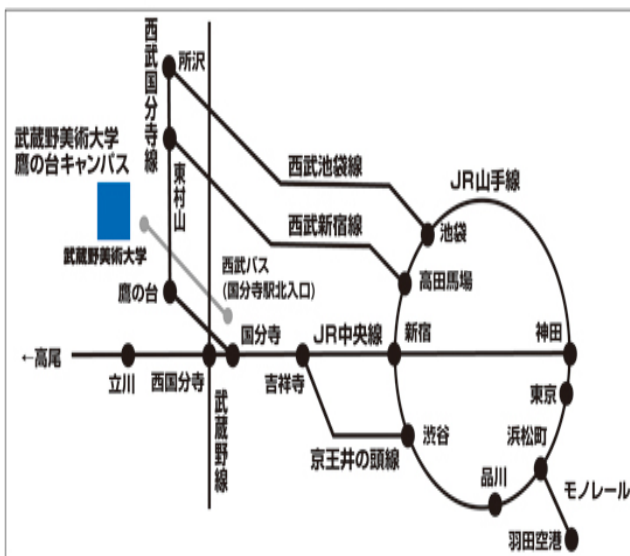
<https://www.musabi.ac.jp/>

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

TEL 042-342-6044 FAX 042-342-6452

交通：

- ① 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
- ② JR中央線国分寺駅北口、西武バス「国分寺駅北入口」発、「武蔵野美術大学」または「小平営業所」行、「武蔵野美術大学正門」下車（所要時間約20分）
- ③ 立川バス「立川駅北口」（5番乗り場）より「武蔵野美術大学」行きで約25分、「武蔵野美術大学」停留所下車すぐ



開講科目案内

< 武蔵野美術大学-2020年度「指定科目1」 >

科目名	「西洋美術史概説 I -2 (通史)」 History of Western Art I -2
単位数	2
開講期	後期 (9月7日 (月) ~12月19日 (土))
担当教員	教授 北澤 洋子 [きたざわ ようこ]
授業時間	月曜 4限 [14:40-16:10]
講義室	4月に、1号館掲示板に掲示します

授業概要

古代ギリシアから 20世紀初頭までの美術を扱う「通史」の後半部分である。中世を概観した後、近世ルネサンス美術から近代までの作品を対象とする。古代ギリシアから近世フランスまで、数百年の間隔を置いて繰り返し表現された「古典的 (クラシック) な」形に視座を置くことで、かえって西洋の美術作品の多様な展開を実感したい。多数の作品図版を見る。

到達目標

古代から近代にいたる美術史の流れを、変化する作品のつらなりとして理解し、記憶する。

授業計画

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 西欧中世美術概観
- 第 3 回 ビザンティン美術
- 第 4~5回 イタリア・ルネサンス 1300年代
- 第 6~7回 イタリア・ルネサンス 1400年代
- 第 8~9回 イタリア・ルネサンス 1500年代
- 第 10 回 イタリア・ルネサンス ヴェネツィア派
- 第 11 回 バロック美術
- 第 12 回 ロココ美術、新古典主義美術
- 第 13 回 印象主義
- 第 14 回 キュビズム
- 第 15 回 まとめ

履修上の留意点

特に無し。

準備学習

展覧会等の機会を捉えて、可能なら実物を見てほしい。

成績評価の方法

学期末にレポートを提出。出席。

テキスト

作品データ資料を配布する。

参考文献 (作品) 等

参考文献・展覧会は、授業内に紹介する。

<武蔵野美術大学-2020年度「指定科目2」>

科目名	「日本美術史概説Ⅰ-2（通史）」 History of Japanese Art Ⅰ-2
サブタイトル	縄文から近代まで
単位数	2
開講期	後期（9月7日（月）～12月19日（土））
担当教員	教授 玉蟲 敏子 [たまむし さとこ]
授業時間	火曜 2限 [10:40-12:10]
講義室	4月に、1号館掲示板に掲示します

授業概要

縄文時代から平安時代までを中心に日本の美術の歴史を通覧する。現代アートの作家たちを惹きつけ、海外からも注目を集める日本美術。その造形的な特質と歴史的な変遷を、時代を追いながら見ていきたい。鎌倉・室町・桃山・江戸の美術は適宜ふれていく。

到達目標

日本の近世から近代にかけての美術の流れと各時代の様式や特徴を基礎知識として身につける。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション：授業内容の確認、教材の説明など
- 第2回 縄文の美の発見
- 第3回 古代の造形：弥生絵画と装飾古墳
- 第4回 飛鳥時代：仏教美術の将来
- 第5回 奈良時代：花開く天平の美
- 第6回 平安前期：密教美術と唐風文化
- 第7回 平安中期（1）：やまと絵の成立 仮名の登場 蘆手の愉しみ
- 第8回 平安中期（2）：浄土教の美術と法華経の美術
- 第9回 平安後期（1）：耽美的な装飾技法
- 第10回 平安後期（2）：絵巻の登場と代表的作品
- 第11回 鎌倉時代：宋風の将来
- 第12回 室町時代：水墨画と雪舟
- 第13回 桃山時代：狩野派と障壁画
- 第14回 近世から近代へ：美術に見る断絶と継続
- 第15回 まとめ

履修上の留意点

パワーポイント等で示された個々の作品を理解するいっぽうで、日本美術の流れや全体のストーリーの把握に努める。

準備学習

画像や図版だけでは作品のスケールや質感、全貌は伝わらない。美術館に足を運び、モノとしての作品にじかにふれること。

成績評価の方法

出席20%、期末試験80%で評価する。

テキスト

特定のテキストはないが、配布資料を中心に授業を進め、適宜、参考資料で補足する。

参考文献（作品）等

- 辻惟雄『日本美術の歴史』東京大学出版会 2005年
- 辻惟雄・泉武夫編『日本美術史ハンドブック』新書館 2009年
- 『日本美術全集』全20巻 講談社 1990-94
- 『日本美術全集』全20巻 小学館 2012-16

<武蔵野美術大学-2020年度「指定科目3」>

科目名	「西洋美術史概説VI-2（現代）」 History of Western Art VI-2
サブタイトル	抽象芸術の誕生と展開
単位数	2
開講期	後期（9月7日（月）～12月19日（土））
担当教員	教授 田中 正之 [たなか まさゆき]
授業時間	木曜 4限 [14:40-16:10]
講義室	4月に、1号館掲示板に掲示します

授業概要

20世紀の前半、ヨーロッパではそれまでにない新たな芸術表現として抽象美術が誕生し、発展した。本講義では、抽象美術の誕生と発展に大きな役割を果たした芸術家たち、とりわけカンディンスキー、モンドリアン、マレーヴィチについて論じ、抽象美術が担った役割やその意義についての理解を深めていく。

到達目標

20世紀前半の西洋の抽象美術の芸術家と作品についての知識と理解を深める。

授業計画

- 第1回 20世紀前半の抽象美術に関する総論
- 第2回 カンディンスキー（1）
- 第3回 カンディンスキー（2）
- 第4回 カンディンスキー（3）
- 第5回 モンドリアンとデ・ステイル（1）：ドゥースブルフの抽象美術論
- 第6回 モンドリアンとデ・ステイル（2）：デ・ステイルの展開
- 第7回 モンドリアンとデ・ステイル（3）：モンドリアンの抽象絵画
- 第8回 ロシア・アヴァンギャルド（1）：ラリオーノフ、ゴンチャロフ
- 第9回 ロシア・アヴァンギャルド（2）：マレーヴィチの初期作品
- 第10回 ロシア・アヴァンギャルド（3）：マレーヴィチとスプレマチズム
- 第11回 ロシア・アヴァンギャルド（4）：構成主義（ロトチェンコなど）
- 第12回 ピカビアとクブカ
- 第13回 クレー
- 第14回 アルプ
- 第15回 まとめ

履修上の留意点

作品を理解する出発点は、作品をよく見ることである。国内で西洋美術の実作品を見る機会は少ないが、文献等で図版をよく見て復習してほしい。

準備学習

授業前および授業後に、参考書において講義中に言及した作品をよく確認しておくこと。

成績評価の方法

期末レポート、出席状況、授業態度で総合的に評価する。

参考文献（作品）等

井口壽乃、田中正之、村上博哉『西洋美術の歴史8 20世紀 - 越境する現代美術』中央公論新社
末永照和編『カラー版 20世紀の美術』美術出版社

HH. アーナスン『現代美術の歴史』美術出版社

ニコス・スタンゴス『20世紀美術：フォーヴィスムからコンセプチュアル・アートまで』PARCO出版

『世界美術大全集 第25巻 フォーヴィスムとエコール・ド・パリ』小学館

『世界美術大全集 第27巻 ダダとシュルレアリスム』小学館

『世界美術大全集 第28巻 キュビスムと抽象美術』小学館